

通信

ともに

第27号



2015年8月12日発行

発行者/認定NPO法人ともに
住所 〒044-0053 虻田郡倶知安町北3条西2丁目
でんわ (0136) 55-5828
FAX (0136) 55-5829
Eメール info@npo-tomoni.com
公式ホームページ http://www.npo-tomoni.com
公式ブログ http://blog.canpan.info/npotomoni/

精神科医 土田正一郎の

診察室で
考えて
いること(仮)



その16
間合い

外来診療でかなり気を使っているかなあと思うのは、「間合い」である。患者さんがまずは伝えたいことをしゃべって、それからこちらも話し始めるようにしないとならないと思う。結構「ツッコミ」を入れたいときもあるが、これはタイミングが難しい。誰しも話の腰を折られたら、痛いに決まっている。その後何かを言われても、やっぱり「何か」程度で、頭には入らないし、心にも届かない。発した言葉は診察室を暫く漂い、やがて消えていく。

診療時間の都合上、「無理な」間合いで話を詰めると、一応話は終わる。それはあくまで一応であって、消えゆく言葉の残骸に(あ〜あ)と秘かに嘆息している。誰にも気付かれないように。 ともに顧問(自称)

その11

気になるあのこと
よ
読ん得!
とことん書きます

わたしの趣味～朗読劇の魅力

文：まつだ

朗読劇とは、声を出して文章などを読み上げる「朗読」によって演じる劇で、「リーディング」とも表現されています。ただ読むのではなく、音がついたり、動きがついたりすることもあります。

私が朗読劇を知ったのは、6年ほど前にある演劇のワークショップに参加したことがきっかけです。それ以来不定期ではありますが演劇や朗読劇をやらせてもらっています。

朗読劇では登場人物の感情を言葉に乗せて観客に伝わるように表現します。たとえば「うれしい」という言葉ひとつでも、泣くほどの感情で「うれしい」だったり、あるいは建前での「うれしい」だったりいろいろあります。うまく表現する言い方は技術的にあると思いますが、大事なのは演じる側にも同じ感情が湧いていることなんだと思います。

その感情を自分の声で言葉に乗せ表現しているとき、私はとても生き生きとした感覚を覚えます。うまく言葉にできないのですが、私はその感覚が好きです。またそれがあから朗読劇を続けているんだらうなど、この文章を書きながら改めて思っています。



各事業報告～7月末現在

- ◆障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい 契約/移行3名、継続B22名 見学/3名 体験/2名
- ◆グループホームよろこび 現利用者/17名(定員20名) 見学/0名、体験/2名
- ◆法人会員 正会員17名、賛助会員 団体2 個人69名
- ◆寄付物品 食品(はるさめ、するめ)、牛乳パック 糸糸、古着物、切手

編集後記

近辺の夏祭り一覧。8/14,15きもべつ夏まつり、きょうこくふるさとまつり、8/22真狩村開基120周年式典ふるさと発信応援ステージ*4、ひらふ祭り、共和町かかし祭り、9/5ニセコ福祉まつり、9/5,6ルスツふるさとまつり(かわさき)

今月の一枚



納涼・京極町ふきだし公園*1
7月11日撮影

わくわく事業

ともに創る地域の和

喫茶コーナー最新情報

「わくわく」の喫茶コーナーについて、これまでに何人かの方々から「喫茶はいつオープンするんですか?」という質問をいただきました。

そこで現在の進みぐあいについて、喫茶コーナーを計画している職員に聞きました。

☕ 準備段階は今どこまで進んでいますか? ☕

今度の冬のオープンを目指して、着々と準備を進めています。必要な物品を予算と照らして選定しています。

☕ メニューについては? ☕

まずコーヒーはお客様自身にミルで豆を挽いていただき、フレンチプレス(ペーパーフィルターを使わず、挽いた豆とお湯を入れた容器から注ぐ方式)で淹れてご提供しようと計画しています。木のぬくもりに包まれた中で過ごすひと時を楽しめるようにしていきます。食べ物については現在検討中です。

☕ ほかに予定していることはありますか? ☕

手づくりのお惣菜を販売します。また製造部の商品と農業部の野菜を置いて販売することも予定しています。新たな販売拠点として住民のみなさまにお買い求めいただければと思っています。



さらに8月29日、精神保健協会総会にも出店します



今年の講演会は、伊東良子（じょんこ）さんによる「生き方の提案～ありがとうのパワー」です。8月29日〔土〕午後2時30分から午後4時まで、倶知安町第一会館3階「メモリアルホール」で開催します。入場無料、どなたでもご参加いただけます。
この会にもワークショップようていが製造部の手づくり商品を出店いたします。お誘いあわせのうえ、たくさんのお越しをお待ちしております。

講演会・研修会活動 みんなで学ぼうシリーズ 菊地先生初登場



記念すべき第50回は今年度から赴任した菊地末紗子Dr.による「認知症の予防について～嫌なことだけ忘れたい～」でした。
認知症の予防のためには早期発見、早期治療ということで、早期に訪れる「軽度認知障害」のサインを見逃さないのが大事（日常に支障が出ない程度の記憶力の低下など）ということでした。
予防対策について話した後は、認知症予防のための運動を全員でおこないました。「コグニサイズ*2」と呼ばれるこの体操は、頭と身体両方を使って楽しくできます。参加者は笑いながらも真剣に取り組んでいました。
認知症は高齢者だけの問題ではなく、若いうちから意識して取り組んでいく必要があると思いました。菊地先生ありがとうございました。

コグニサイズの一例
・足踏みしながら手をグー・チョキ・パーの順番に出す。
・右手と左手でじゃんけんをして、常に右手が勝つようにする。
など

菊地先生より一言
記念すべき50回目に発表させていただき大変光栄でした。認知症予防の取り組みとして「コグニサイズ」を取り上げ会場の皆さんと、間違えて笑って楽しみながらコグニサイズに取り組みました。少しでも日常生活に取り入れていただけたらと思っています。

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい 就労に向けて～職業適性検査ってなに？



就労に向けた活動をするとき、職業適性検査を受けることがあります。
職業適性検査は札幌と旭川にある「北海道障害者職業センター」が実施しています。この検査はハローワークで受けることを勧められたり、前回ご紹介した「ひろば」さんやワークショップようていなどの就労支援事業所が本人の意思を受けて受ける手続きを進めたりします。希望した人すべてが受けられるとは限りません。
検査を受けることで自分が「やりたい」仕事と「得意な」仕事とを客観的に判断することができます。検査内容はお伝えできませんが、ワークショップからも数人受けています。

8月23日、くっちゃん福祉まつり出店&スタンプラリー参加予定

倶知安文化福祉センターの特設会場で開催する「くっちゃん福祉まつり」に、今年も「倶知安たんぼぼの会」と合同で出店します。今年はいつもとより1週早い8月23日〔日〕、午前10時から午後3時の間です。販売品は昨年同様、手芸品、農産物の販売とフリーマーケットの予定です。たくさんのお越しをお待ちしています。



昨年の福祉まつり

また今年から始まる羊蹄山ろく自立支援協議会「知ってる会？」*3が主催するスタンプラリーにワークショップようていも参加します。詳しくは当日「知ってる会？」のブースへお越しください。このブースは休憩所としても利用できます。

新製品ぞくぞく誕生！

ワークショップようていでは、たくさんの人にお買い求めいただけるように新製品の開発と販路拡大に力を入れています。

<p>さやあかね</p>	<p>きただあかり</p>	<p>とうや</p>	<p>農業部</p> <p>昨年好評だった「さやあかね」に加え、「きたあかり」と「とうや」の3種類です。今年度は有機栽培挑戦なので栽培中化学肥料も使わず育てたので、収量が心配でしたが、予想以上に大きかったです。 また豆類も順調に育っています。大豆は枝豆としても販売する予定です。</p>	<p>製造部</p> <p>リサイクル着物のスカートとズボンを製作中です。福祉まつりでの販売に向けてがんばっています。 ほかにペットボトルホルダーもつくっています。高齢者を中心に注文が殺到しています。保冷用にぜひどうぞ。</p>
<p>スカート</p>			<p>ズボン</p>	
			<p>ペットボトルホルダー (保冷シート入り)</p>	

農業部、コープさっぽろ倶知安店「ご近所やさい」で販売開始

倶知安町北3条西4丁目（倶知安駅となり）
営業時間：毎日午前9時～午後9時（8月現在）
ご近所やさいコーナーにある立て札が目印です



隠れたロングセラー 廃油石けんも好評発売中

ワークショップが共同作業所のころから長年製作、販売しているのが「廃油石けん」です。廃油、苛性ソーダ、水だけで作っており、他の添加物は一切入っておりません。廃油は石けんを作るときに固まりやすいサラダ油に限定して寄付していただいています。
委託販売していただいている喫茶ボンボンのお話では、まとめ買いしていくお客さんが何人かいて、衣服の土ぼこり、食品の汚れがきれいにとれ、白地が映えると根強い人気があるそうです。食器洗いにも使えます。
1個100円で販売中。今度の福祉まつりでも販売する予定です。

